



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私はまず音の大きさにしびれを感じました。

ボンッボン、ドーンという音は、ほんとに一しゅんて

その一しゅんて、さまざまな人が「じょう死し、死んで」セツル

などもとが「され、こおされ、町の姿が変わってしまう、

と聞いただけでもおそろしく、おそろしく、考えたく

ないほど怖かったのに本当に目の前で見えてい

た人達は、どれほど怖く、おそろしかったのが

想像するだけでおそろしくなります。

「7000℃の少年」は7000℃のリトルボーイです。

リトルボーイは、なんがおそろしいのだ、と思います。

アメリカは私達がこのようになったのを見ずえで作

っていたのでしょうか。自分の国が世を事が負の世界遺産と

なり、「あやまち」とされて、はずかしくないのでしょうか

が、アメリカに怒りがおいてきます。

これからもうこんな事が無くなるように、この思

いを、いろんな人に伝えていきたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受けて、戦争は甘いものではなく、恐怖でしかないことを改めて実感しました。
 広島原爆ドームが広島県産業奨励館という立派な建物であった事や、衝撃波の速さや原子爆弾の重さ、などなど、たくさんことを教えていただいたため、じゅう突した90分間でした。僕は、この授業を通して、改めて戦争をもう二度としてはいけおれんと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾投下の条件

- ① 直径5kmを超える都市
- ② 平野であること
- ③ 空襲がその日までなかったこと。

一番強くおされた都市京都

たけど昔の文化財があったからなし

原爆の名前 リトルホーイ 日本語少年 小さな子

原爆はパラシュートできていなし ラジオゾンデで きょうかひん
上空600mではくはっ しょうげき波は二回 爆発のしょうげき波と

このしょうげき波が地面にはねかえったしょうげき波

エノラケイとはケツン大佐の母親の名前。 感想 ~六月16日

聞いたときは怖くて自分達のとこに落ちこないか心配だったけど今は絶対こないでほしいと思っていました。

今は平和で楽しい生活をしているけどほとんどこ外話を聞いただけでも聞えんさきたくような経験をした人がいるといふことを知って原爆戦争の恐ろしさを知ることかできました。

今日一日少し怖い話もあったけど戦争のひびきを知らない体験が出来ました。原爆先生今日一日ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆のことで、私が全く知らないことを授業で何個も学べてすごく興味深かったです。自分が思っている以上に原爆が恐いものだったということが分かって、自分達はこれからも人を傷つけて相手を従せるのはだめだと思いました。候補に横浜や京都という、日本の有名な都市も、ていてびっくりしました。

爆けき機が3000kmも飛行していたことや、爆けき機の名前が母の名前ということも初耳でした。

被爆者のこいぞくでも、原爆のことを思い出したりしたくないと思うのに、すごくいいねいに、よく分かるように教えてくれて、原爆のひさんさが目にはうかんでくるようでした。被爆者、そして被爆して亡くなった方が予想よりはるかに多く、約2万人の方が逃げる間もなく、いっしょになられたということが想像がつかせませんでした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆とは、とてもひどく、悲しいものだ^と思いました。

表現がとても生々しく、実察にけいけんしたらトラウマになるほど怖いのです。

第九条はなくなつてほしくないのです。

運よく「いよいよ」にかかれていたのかいとおもいました。

とても暑く、熱風を感じ、日本の命令に志士兵士たちは、とても立派な人だ^と思います。

戦争はおそろしいので二度とないことを祈ります。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆が落とされた場所以外にも候補になっていた都市があったということを初めて知りました。原子爆弾を投下する都市に条件があることがわかりました。原子爆弾が太陽よりも熱いことや、熱線・しょうげき波・放射線のえいきょうで被害が大きかったなどのことを知り、広島にいた人はとても痛くてつらかったらうと思いました。また、戦争をしても両方の国で死者が出るだけなので、やめたほうがいいと改めて思いました。知らないところや細田かなところまで教えていただき、とてもおもしろかったです。原子爆弾についてさらに理解を深めることができました。貴重な時間をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

2月4日の日にリトルボーイという31.2mで4セものある
 原爆をエノラゲイから落とした。いっしょに真空になり空も失り
 1秒440mもの落下速度は3000度の熱が降りそそいでくると思う
 どぞとします。人間は速くて2.50m 6秒たり1秒であらわれと8mくらい
 水の中にならんだとしても熱ですぐ水が蒸発しちやったり
 さいただけでもこわりです。アメリカの実験家がいっしょに原爆をおと
 す必要があるのかもしかしてアメリカはもと戦争をしたかったんじや
 ないかと考えてしまいます。広島と長崎に原爆を落とす時
 どう思ったのでしょうか。広島と長崎に原爆このようなことは二度
 とあってはいけなとこにかいの授業をうけてあらためて思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

改めて原爆の破壊力を思い矢らた。これまで
は「怖いもの」「恐いもの」といふ思えずにい
たが実際に^キ数値化されたり、身近な物に
おきかえられたこととしてその恐さの真骨頂が
わかった。原爆そのものへの恐怖布といふより
それを作り、そして日常を一瞬にして消し
てしまふ人間に恐怖布をいふた。そしてこの
恐さを後世に伝えるべくといふことも恐い
と感じた。原爆の下にいた人の映像は見
ない。この恐さにあふれた兵器は生み出し
てしまふ以上はこの世から消すことはでき
ない。なれば人類最大の武器である「言葉」
を使つてこの兵器をコントロールしなければ
ならない。それが人類が原爆を作つてしまふ
以上、と背負うべき使命だ。そしてこの原爆
を使つたアメリカは素直に罪を受けとめ、今後の人類の
発展のため尽くすべきだといふ。そして日本も唯
の被爆国として、この原爆の恐怖を伝えてい
なくてはならない。二度と同じ悲劇が行な
おに。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

6/16

ぼくは原爆はとても恐ろしいものとして
 認識してはいたが、そのことについて深く
 知りすぎて考えたことはありませんでした。
 でも今回の授業で、熱風やしょうげきなど
 具体的にどのようなものなのかをくわしく
 知ることができ、その真の怖さを胸に刻み
 ました。原爆ドームの時には義三さんが話
 してくれ、戦争を体馬喰していながら
 見るのはちがう、思い出すと涙がにみ上げ
 てくるほどの悲しみや苦しみを感じることが
 できて、とても勉強になりました。
 日本国憲法の前文にもあるように二度と戦争
 の惨害がなく、平和な世の中がずっと続いで
 いくように、少しでも自分のこの経験が役に
 立てばいいなと思いました。
 貴重なお時間ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はそもそも「原爆弾」をおとされるのは「広島」に定まっていたのかと思、ていました。でも候補にな、っていた都市は6つあったと聞きおどろきました。またアメリカは戦争中は自分の勝つことしか考えていなかったと思、ていたため1番推されてきた「京都」に原爆弾を落とすのかと思、たのですが、人間にと、この文化財が多か、たという理由から落とされず、にすんだのだ、ということを知り、アメリカもそこを配慮したのだ、なと思、いました。また広島に落とされた原爆弾は投下目標地よりも200mしかずれていないと分かり「正確さ・威力」すべて備わ、ている原爆弾を作、たアメリカの怖さを実感しました。

日本国は「日本国憲法」で戦争破、きをちか、いしましたが、今も「原爆症」に苦しむ人もたくさんいます。ただ戦争はしてはならないものだ、と考えるだけではなく、その戦争がどのような事、だったのかという事実を理解することが今後二度と戦争をしないために必要なのではな、いかなと思、いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日、私は原爆のことについて話を聞いた。私は原爆のことを知っていたつもりであった。1945年8月6日に広島市、8月9日に長崎市に原爆が落とされた、黙っていたものだった。だけど今日、話を聞き、もともと私が思っていたよりも深かったことを知った。

まず私が思っていたよりも人々は苦んだことを知れた。やけどをしておいて歩けないと歩くのが辛いこと。その指からも表面温度7000℃で太陽よりも1000℃も高い大きなものが地上6000mから落ちてきて大やけどをしたせいで油のようなものが「ポタポタ」を落ちていたこと。これに私はまずおどろいた。想像しただけから話を聞こうと思っていたものの想像できなかった。

次に原爆が落ちてきて40%の人が亡くなったことを知った。「ガラスの中び…」を考えると怖くなった。争いが起るんだ。他にもたくさんあった。

私は最後にビデオを見た時に「戦争は私たちが思っている以上に何倍もひどいものだよ」と思った。



名前は裏面に記入してください

じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表

最初は、ぼくにとって原爆とはあってはならないものだとただ思っていました、という道義で爆発するという知識も知っていました。しかし、原爆先生の原爆投下直後の実際のお話を聞いて、とてもシリアスな状況だったんだなと思います。原爆で亡くなった人、放射線により原爆症にかかって亡くなった人、助けたくても助けられないことのことを思うと胸が痛みます。ぼくは小学4年生の時広島の実という港の近くの大和ミュージアムで戦争の恐ろしさを知りました。原爆先生のお話も聞いて思ったのですが、原子爆弾が恐^ろしい新兵器よりも、ずと、ずと^ろなによりも恐^ろしいものは、それを作り出した人間だと思っています。原子爆弾を使ったのは、戦争を終わらすためではなく、その兵器を試み^{ハッパ}てみたからなのではないでしょうか。日本の敗戦は、原爆を落とす前でも明らかだったとアメリカも分かっていたんだと思います。ですが、実験として日本というボロボロの弱った国を標的にし、試したのです。だから、原爆は、人を殺すだけのなんの役に立たないものだ^と感じ出ると同時に、これからぼくたちがどう

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

って原子力人間が作り出す兵器を扱っていくのか^が問題になると思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆を受けていないので話しが知りません
なので今回の特別授業で当時の人々の様子
などを聞いてよかったです。原爆を受けたか
皮がはがれてしまうこともわかりました。

今は日本は戦争はしないので原爆を落とされた
りしないので皮がむけるか原爆くもが出来て
死んでしまうとかはないのでわかりませんが
どんなことがあっても戦争をしてはいけないし
多くの人々が1つのミサイル(爆弾)で亡くなって
しまうのであためて戦争はいけないこと
がわかりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今まで学校や塾に通っていたので、広島や長崎に原爆が落ち、たくさんの犠牲者を生み、戦争はよくない、という表面上の事だけを知っていました。しかし、今回、池田義三さんの経験したことを聞いてみると、義三さん以外にも、どれだけの人が原爆によって苦しんだのかわかりました。義三さんは、原爆が落とされた当時、ドラム缶の後ろにいたので助かりましたが、それでも十メートルほど飛ばされていて、ここでも原爆の恐ろしさが伝わりました。義三さんは助かったものの、爆心地に近くなればなるほど、人間ではなような人がいたり、皮膚がはがれて、赤い肉がおき出しの人があられ、その人たちは義三さんに助けを求めました。しかし、トラックに乗る時、転倒し助けることができず、最後見た動画で義三さんがその当時のことを話している時、泣きそうになったのと同じように、きっと当時の義三さんも罪悪感に襲われ、とても後悔したと思います。そして何日かたち、遺体を焼くことになりました。遺体をおいた時、義三さんはとてもいい気持ちではなかったと思います。爆心地の近くでは、かきまぼかりで遺体すらなく、原爆の熱線、衝撃波、放射線の恐ろしさが改めてわかりました。さらに原爆で犠牲となった人は、広島市の人口の四十パーセントで、家族のうち一人か二人死ぬと考えると、とても恐ろしくなりました。しかし今は、資料館に行っても思い出せないくらい、復興をとげっていました。でも、多くの方が犠牲となったのは事実。もうこれからは

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

誰一人、苦しい思いをしない未来をこの私たちが造り、この戦争の悲惨さをわあれてはいけません。と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

戦争はおそろしい、原爆はおそろしい、…そんなのは何度も言われてきました。おそろしい、おそろしいからしやないよ…と。でもその理由は、はっぴと、わかっていかなかったような気がはる。だから聞いて逆さそくになりました。すこく、言事にならないうつなかんして。

人の命をうばう。これはとてもこわいことなんだ…とあらためて思いました。飛行機が来る音とらんぐがこわかったです。ふるえそくになりました。心にひびきました。こわい…こわい…って思いました。原爆でやられた、きのこ雲でやられた、…。熱があつすぎるいーしゃんで蒸発してはった事実にもおとりました。本当にひびんで…。

でもそれと同時に思いました。生きらぬるたけで幸せたと。クラスのみんなと笑って、塾の友と帰って、遊んで、勉強して、普通に歩いて、学校に行けるのは、とてもとてもすこいことだと。小さなことでくじけて、泣いてる自分かどんなに弱いか…。

戦争を体験して、くじけな…池田さんはすこい。本当にすこい。私のよくな小さなことになやんでほくはどんなにバカか。だから、思いました。強…心を持つと、と。

自分の目失にある勝負、負りにとらわれた人の命がた。たーしゃんで消えて、不幸になることをしな…人にはならないと。絶対、原爆なんて投下しては…ない。最終になつて7000℃の少年の意味がわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

前から原火暴のことは知っていたが、先生の話を聞いて、もっと原火暴の強さ、戦の悲しさ、空しさがあかりより一層戦争はよくないと思えました。原火暴のこともくわしく聞いたことにより、原火暴はよ、て亡なたがたの人数やいろいろな事を教えてもらいました。貴重なお時間ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆の話を知りたがって、
 いろいろもつかりました。なにか罪が
 ない人たちがいるのか、昔は
 間に赤い糸でつながれていて起
 ったこのことが、この世に
 いた人がいたと聞いて、単戈争
 はあるものなのだと思います。
 いろいろ原爆の話を知りたい
 ので、実際に体験していただき、
 いろいろな悲しい話を、原爆生
 存者や家族の方から話を聞
 きた人が、同じように思
 った。だから、単戈争として
 ことは話に聞く中で、うかが
 いて、大きく、単戈争は、
 した方が一人でも、言
 ったことだ。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

まず、最初にはわがたです、私はあけてあけて夜はあまりおっ
けがたです、先生の話しを聞いて思ってしまったのです、
家に帰ったが、私は資料館のホームページをみました、
自分で調べ自分で確認はしたからです、
「これで、きれいな人間だ」と一番最初に思いました。
でも、一分もしないうちに画面をこじてしまいました。なぜか
というところからたからです、こんな人が大勢いたんだ。
そんな風に思うと体がふるえ出しました。
体の水分がなくなるまで熱がささる、うかんじいの
で、このかきまわす、たいてい思いますが、こころ、
ふたつに分けておけるのほどのようなおちのてい、
か、この、えんがは、た人たちはどんな人なのでは
うが、ま、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、
生きている人も大切な人を亡くしている人た、大勢
たと思えます、どんな思いでされたのでしょうか。
ま、問はかりが口から出てきます、私はこのことをいか
て生きていこうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆にくらべて、人は、40%しんでしま
うということを知ってそれとしました。原子爆だ
んをおとしたアメリカには、少し怒りはあります。
なぜなら、人間を恐ろしい形にしてしまうほど
日本を打ちのめしたからです。やはり、こんなことは、
二度とあってはいけないことだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受けると、

原爆のおそろしさがわかりました。

今日は、原爆の事をあまりよく知りませんでしたが、

今日の特別授業をふくまれました。

原爆は太陽よりあついなこと、

原爆を落とす所は京都が一番

おそろしかったこと...

そのほかにもいろいろなことを

学びました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

6/16

2年生 ころが 5年生 まで 国語の教科書に戦争
のお話だったり原爆についての「はたしのゲン」
などたくさんのお話をまいていましたか。
今回の授業を聞いて、知らなかつたことも
たくさんあつたり、二度と戦争をしてほくない
ということは自分の心に深く刻まれました。
原爆によつてなくなつてしまつた人は
数えきれないほどの人がいると思ひます
7000℃のあつさもあつてしまつた広島
の人たちは、人間ではないという姿になつて
しまつたといつていたつて、ほくは悲しみがとま
りません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先生が原爆が落とされた時の音をマネしていて「ピカー」と大きな音がなっていてびっくりしました。でも本当の音はもっと何倍も大きいと思いました。

義三さんの動画を最後に見ました。

動画の中の義三さんは泣きながらはなしてました。とてもつらかったかごだ。たからだと思います。

いままでに「たずねびと」をよんで原爆のことをして少し気になっただけだったのでたくさんを知ることができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

6/16

戦争をするということとは、と"れた"けひせんなことだ。た
のがを知らなかった。自分は運良く助か。たけれど、
他の助がらな。た人達の死ぬのをむけ、まし複雑な気持ち
もとなる主人公をみて、自分がここにいたら自分は自分が許せ
なくなるだろうと驚きました。また、人が"ん"で"は"なくなっている
姿を見たら、理性などなくなり、ただ「死」というものを身近に
感じるた"け"たろうなとも思いました。その「戦争」を引きお
こした日本とアメリカに私はおどろきました。実際に
人が「戦争」によ。て、死んでしま。たり、今もなお苦しんでいる人
がいるのに、身勝手な行重カをするなんてひど"いな
と思。いました。一方で"原子爆た"んのいりよくにもおどろきま
した。太ようの表面温度よりさらに高い表面温度。
つまり太ようが広島県におちたということになります。
す。おそろしいと思。いました。また、放射線のうがま。るこ
とにもおどろきました。今まで知らな。たです、熱いから
ら"×"た"け"でなく、放射線のうのま"ど"入。といるといわ
れると、す"い"ひと"い"ものた"と思。いました。戦争はひせん
た"けれど、みんなで考。えてい。かなくてはと改め
思。いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆についての授業を受けてほくは、
原爆のおそろしさや戦争で何か
おこるのか、戦争をして何をうむのか
あらためて感じました。

授業をうけて、戦争が"どんた"け、
おそろしくもう二度とあっては、いけない
事だ"と思いました。大人になっても
原爆というおそろしい事が昔あったという
事を忘れずに生きていき若い人に
伝えていきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆ドームや資料館へ行ったので、少しは知っているつもりでした。けれど、今回の話を聞いてもっとひどいものなのだと思います。そして、自分も知らなかつたことがもって多くありました。先生はよしごうさんが被爆してしまつた人たちを見て助けようとしたが、スルッとすべり、転ぶようになってしまつたことや川の辺りにあるたくさんの死体を見たこと話してくれました。私がその様子を見たとき震え上がつて逃げ出しそうになると思います。

原子爆弾については、「リトルボーイ」などという名前は知っていましたが、表面温度が7000℃で太陽より1000℃熱いことや、衝撃波の速さが音よりも速いということは知りませんでした。原子爆弾の死亡率が40%ということは5人に2人がせくなるということです。そんなにせくなつてしまうのは、つらいです。親せきや友だちもせくなるかもしれません。それはとてもつらいです。原爆のひさんさかよくわかりました。とてもいろいろなことが学べました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

6 / 16

戦争は基本的にいけないことだと分かっていながら自分は最近包ないことや物が大好きになりこれはなとますすぎるなと思います。

そもそもなぜこわいのがないかというとお父さんがきっかけです。うちの父さんはよくこわいゲームやアニメを見ていてそれをいっしょにすーっといっしょに見ていたっていうことが理由だと自分の申では、思いました。

今は、火薬を作りたいと思っていてこの理由はさっきにもいえるかもしれませんがあるアニメで化学の事を中心でかっている人がいてその人が作っていた物に目をとられてしまい化学と同じタイミングで好きになっただのが主な理由です。

ただこれから基本的にそんなの考えないようにします。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今回の授業を通して、戦争というものの恐
 しさ、こわさに気が付くことができました。原子爆弾と
 いうものは歴史の中に残るほど有名なくらいに悲し
 い出来事です。二度とこのようなことのないよう今後の
 未来自分がどう生きれば良いか、この出来事が
 も二度とおこらないため、一人でも多く語りつづ
 げたいです。また、命の大切さなども学
 ぶことができました。良か、たと、心に刻んであり
 ます。世界でもたくさん山というほど
 紛争がおこっています。今、この日本、
 東京が平和であることに感謝しています。
 そして、いろいろな知見を得る
 ことができました。今回は、特別授業をして
 くださり、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、5年生の社会のテーマ自由の調べる形のテストで「原爆のことについて」をテーマにしました。最初は、調べてまとめるというレポートの資料ということで調べていましたが、読んでいるうちに、戦争の悲惨さがわかってきました。私が目を通した資料は、ウィキペディアのものでしたが、けっこう正確でした。それは、多分戦争の経験が正確に伝えられていることを意味しているのだと思います。実際に体験したことを他の人に伝えるのはとても難しいことです。体験した人には映像で頭に残っていますが、それを他の人に伝えるには言葉や字でしか伝える手段がないからです。それでも、私たちは伝えていかなければなりません。戦争・原子爆弾のことを。日本では、戦争の後、どんどん豊かになっていきました。でも、私たちは豊かになるにつれて、何か大切なことを忘れていってしまうのではないかと思います。でも、それではいけないと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私たちが住む「日本」は、世界で最初に原爆が落とされました。世界で唯一の被爆国である日本。私たち日本人は、戦争のおろかさ、そして、もう二度と原爆という人間の負の開発を、自分たちの利益のために使ってはならないということを世界中に発信していかなければなりません。それは、日本人の「義務」であり、「権利」でもあります。

原爆先生に話してもらった貴重なお話を、私たちも、後の世代へと伝えてい、て、世界平和、そして、原子爆弾を落としたのが^{1945年8/9日}長崎で最後になるように、努力していきたいと思ひます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾は私が想像していたよりもずっと
怖いものであるということが分かりました。

広島市の5人に2人が死亡しているという事実を知った
ときはすごくこわい気持ちになり大きな衝撃が頭
をきめくほした。

「ヒロシマの九日間」で被爆者の皮膚がはがれ落
ちた事や顔が赤くはれあがって大やけどをしてい
たという事を知ったときにはかきえうで涙が出てま
した。

又、それを知りながらも且ける事のできなかった池田
さんが涙するところを見てかきえうであると同時に
にどうにもできないいもどかしさを感じました。

また、被爆者のつらさに大きな悲しみを抱き
ました。

そして痛みを苦しんだ人たちは戦争のせい
でこうなりました。たのだと考えると戦争は本当に恐
しいと改めて実感しました。

私はテストの点が悪いだけで不幸せだと考えてしま
います。けれどこれから自分か幸せな事に感謝し

過ごそうと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは元々原子爆弾のことを調べて
 いました。広島型、長崎型、ウラン、
 プルトニウム、戦争のことを調べて、
 戦争のむさしさを、矢口たような感覚
 でした。でも、6月16日の今日、話を聞いて、
 足がふるえたり、手がかわかまげたりしたのを
 きいて、全身がふるえあつたりするなことを
 したのは、初めてで戦争のしんくささ、思っていたよ
 だと矢口りました。ぼくは原子爆弾やガクミサイルを、
 全ての国がもたないようにした方がいいと思う。
 でも、それは、現実的に無理だ、と思うけど、
 そうなつた方がいいと思う。
 こういう考えをさせてくれる話を、
 してもらい、本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島原爆は「くわく歴史マンガなど」で「さらしくいしか学んで
 いながら」実際に「くわい語」などを聞いて「くわい」の「くわい」
 は想像を「くわい」するものだと「くわい」がわかりました。原爆を「くわい」
 する条件が「くわい」5kmを超える都市、平野、今までは「くわい」が「くわい」
 というのは「くわい」のこと「くわい」が「くわい」が「くわい」
 のときに「くわい」きたという「くわい」があるという「くわい」を知った。原爆は「くわい」
 落とすのではなく「くわい」物線「くわい」を「くわい」落としたという「くわい」が「くわい」
 原爆は「くわい」地に「くわい」落としたか「くわい」地でない「くわい」に「くわい」
 落ちたことが「くわい」わかった。原爆の「くわい」温度が「くわい」の「くわい」温度
 より高いという「くわい」が「くわい」わかった。原爆「くわい」で「くわい」爆発
 しているか「くわい」思っていたが「くわい」実は「くわい」爆発していたという「くわい」
 が「くわい」わかった。原爆「くわい」爆発が「くわい」70%という「くわい」
 が「くわい」わかった。原爆「くわい」出た「くわい」の「くわい」
 「くわい」によって「くわい」出来ていた「くわい」が「くわい」わかった。原爆の「くわい」
 「くわい」の「くわい」が「くわい」よりも「くわい」早いという「くわい」を知った。原
 爆「くわい」は「くわい」原爆「くわい」の「くわい」であるという「くわい」を知った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕のおいさんは満州開拓団で満州に行った後、
広島に帰った時に周りが焼け野原でおどろい
たそうです。それで僕も小さい頃からよく原爆ドム、
平和記念公園、原爆資料館に行ったり原爆につい
ての本をもらったりしていました。今年の夏、「消えた家族」
という本を買ってもらいました。その内容は今まで
仲が良くおだやかな生活を送っていた家族が、
原爆により全員亡くなってしまった、とい
うものです。それで戦争のおそろしさを知った
後、このような授業を受けて、また、資料館で
見た形が現実よりも生々しいものだなという
話を聞いて、さらに戦争、原爆のおそろしさ
が分かりました。ありがとうございました。

僕は7000°Cの少年の意味が分かりました。

7000°Cのリトルボーイということていいのでしょうか？



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆が投下された年や日時もうやむやで、しつかり分かって
 いなかったのですが、今回の特別授業で体験した時の
 事も教えてもらったので自然と頭に入った気がしました。
 赤く焼けたただれたはだや、階段についた人の黒い影なども
 何となく本で読んで"知ってはいたけれど"そこにいたるまで
 何があってそうなってしまったのかは、どうしても理解しずら
 かったので、しつかりそこまでのお話やいきさつを説明して
 もらって理解できたと思えました。原子爆弾を投下
 するのに条件があったり、投下する都市の候補があったのは
 知らなかったのも、そこも勉強になりました。そしてその
 候補になった都市に入っていた京都が選ばれなかった
 理由が大体はアメリカの国のためだ、たので"そんな理由で選ば
 れなかったのかと知ると投下されなくてよかったと思う
 気持ちとそんな事だけで"と思う気持ちで複雑な感
 情になりました。実際の爆心地あたりの地図や
 太陽の話鉄が溶ける温度などの具体例もあげていた
 ので分かりやすかったのですが、分かりやすかった分、生々
 しく感じて、やっぱり戦争はしてはいけないんだなと
 思いました。私は戦争を経験してはいませんが、出来るだけ



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

・原爆を投下した(B29)エラ・ゲイがチベット大佐のお母さんの名前だったことを知って驚いた。

・京都が一番原爆を投下するのに適した土地だったのに、聞らずに投下しなかった理由が古くからある寺や神社がたくさん存在していて重要文化財などが失はれたから、という理由と日本人の感情を教えたから、という理由だったことが驚いた。

・小倉、横浜、新潟など候補になっていた土地がたくさんあったことを知らなかったことで、とても興味深かった。

・昔の原爆でもこのいかに出せられているので、現代の原爆のいかに恐ろしいことがなんとなく実感できた。

・カチカチがはがれ落ちる様子が想像するだけで人間ではないものであることが感じられた。

・そんな中、きちんと自分の仕事を果たした人達がとてもおどろいて感動した。

・原爆1つでこんなおどろきがかかることが信じられな

かった。 特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

・二度とこんなおどろきを起こさないように自分たちが努力するべきだ、と実感した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は前に戦争について知りたくて、博物館に行きました。そこでは戦争のむさんさや、原爆の怖さは分かたけれど、自分で実感できずにいました。だから、自分の生活との関係を感じていませんでした。しかし、今回の原爆先生の話は、話し方や具体的な事を教えてくれて、正直ものすごく怖かったです。ものすごく傷ましい姿だたのだと考えるとつらいです。理科の授業で「太陽の温度は6000℃でものすごく熱いですよ」と教えていたので、それよりも1000℃も熱いというのは、自分が体験したら、熱いという感覚はなくともう死んでしまおうと思って動けないと思います。

よくテレビなどで目にする広島市の映像は町が生き生きしていて、明るい印象があります。町の7割の人が被爆して、亡くなった人も沢山いて、川の中も死体で埋めつくされて、何も残っていないが、たのにここまで復興する事ができたのはすごいと思います。ですが明るい町には、今も原爆ドームなどの原爆のうめあとが残されていて、それは、人々の記憶の中にはいつまでもおそろしいままで残りつづけていると思います。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

つらい事たけれど、
 経験者は近年減り続けています。そういう事があるから、もっとも

裏につづく



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

今まで戦争について知っていた事は、
1945年に広島と長崎に原爆が投下されて、
原爆トームの屋根が骨組みだけになって、
原爆資料館ができたという事しか知りませんでした。
でも、どこか爆心地だったり、
原爆の投下時にどんな音がしたなどは、初めて
知りました。私は一時期原爆に興味を
持った時がありました。その時に本で調べた
ら、今回の授業でも聞いていたが、
原爆の熱で川がふっとうしたような熱さ
と書いてあって、原爆の熱さによって人の皮膚が
ズルズルとむけると聞いて想像ができませんでした。
今回の話をして思った事は、原爆が投下さ
れたのは、広島と長崎ですが、その原爆は、東京大空襲
の時も、同じ物だったのかという新たな興味
を持ちました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は小さいころ絵本で広島県や長崎県に原爆が
落とされどんな事があったかを知っているつもりでした。
原爆は危険なものの事。たくさんの被害が出た事、悲し
んだ人が出た事、亡くなった人がいた事などです。でも実際、
そんな簡単言葉でも表せない事か、もっともっと
たくさんあることを知りました。候補地には京都が
入っていて色々な学者から強くすすめられたが、重要な
神社などの文化財があって止められたという事だ
した。もし京都に落とされていたとしたら、今のような景
色を見る事ができません。

今日のお話を家に帰ってから家族に話しました。
今の平和な日本には想像もつかないような時代が
あったという事を学び、平和について考える時間を
持つことができているか、たと思いました。
お話してくださってありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

6/16

前半の45分間、特に原子爆弾が投下された時のお話をうかがった時、とても胸がいたい気持ちになりました。戦争、原爆、合までと「れも目をそむけてしまいました」が二度と言葉にできないほどの苦しみやつらさを世界中の誰もが味わなくてもよいようにするために原爆先生の特別授業がとても貴重な時間だと感じました。原子爆弾は、衝撃波、熱線、放射線という三つものつらさをもたらし、また、そのつらさで身体的、精神的つらさ、苦しみを今この瞬間も感じている人がいるといふことは絶対に忘れてはならないと強く感じました。そのような原爆先生のお話をうかがい、一番に思ったことは、「平和」というものがいかにしあわせであるかということです。そのような世界を継続、より良くするために「一人一人の努力が必要であり、「戦争」の悲惨さを後世に伝えていくことで「戦争」というあやまちが二度とくり返されないようにすることも重要であると分かりました。原爆先生のお話をうかがった時に私が感じた衝撃をずっと覚えていくことができるようにしたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、池田さんのお話を通じて、いろんなことがわかりました。1つ目は候補となった都市で予想被害が一番大きいのは、京都でありアメリカ側も日本人の気持ちを考えて、都がかってあり重要文化財が存在している所を避けたと知りました。2つ目としてリトルボーイについては、ラジオソニックのように風向や爆風の強さをはかるためのものにはパラシュートを使っていたが、広島などでおとされた原爆は重力の関係があるため、必要がなかったと同じに、上空約600mはなれたところでせし100万と表面温度7000℃と太陽の6000℃よりも高い温度であることを知り改めて驚きました。(ちなみに鉄が溶ける温度は1500℃) 3つ目は、熱線、衝撃波、放射線の3つのことです。その中でも特に衝撃波は、毎秒440mと音よりも早い。又、きのこ雲は、上昇気流で雲がたくさん上にいき、横に広がることもわかりました。電話局の話などわかりやすい解説ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆とはと"ういうものなのかな、私は少ししか知りませんでした。調べるにしても、映像や写真が恐^{おそ}しいと聞いたことがあり、調べる気にもなりません。今日、実際に話を聞いて、自分が思^{おも}っていたことよりも、もっとも、もっとも、ひどく恐^{おそ}しいものだ^だと思^{おも}い、また、なぜこのようなことが起^{おこ}きました。てしまったのかも不思議に思^{おも}いました。私が知っていることとしては、戦争が原因なのだ^だそうですが、……

池田義三さんは戦争のことについても考えていたのが、気になりました。

私は、わたしに泣くことのない人間なのですが、今回の話で、思^{おも}わずに涙^{なみだ}がぐんぐんと流^{なが}れたのは、義三さんが女性を助けたという話です。私なら助けてあげたいと思^{おも}っても、その傷の深さにおどろくばかりで、何もしてあげられないと思^{おも}ったからです。そんな女性の命を、すくう事ができた義三さんの勇気と優しさに、私はとても尊敬しました。

そしてこの特別授業では、私の知らない原爆のひどさをしっかりと聞くことができたので、この期会をくださった先生に、とても感謝しています。私^{わたし}が今^{いま}こうして平和で幸せにいられることも、この原爆のおかげなのかもしれません。でも人の命をたくさんうば^{うば}い、犠^ぎ牲^{せい}者を生^うみだ^だす原爆は、あってはいけ^いないし、あってほしくないと、思^{おも}いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、最初に言われた。「7000℃の少年」の意味が、原爆先生の言ったことで分かりました。それは、投下された原爆の、「リトルボーイ」＝「少年」でその「リトルボーイ」の表面温度が大腸より1000℃も高い、7000℃だから「7000℃の少年」は、原爆の事だと思えます。

ぼくは、原爆が落とされたのは、「広島」だというのは知っていますが、落とした飛行機が、原爆を投下する都市の条件などの、くおしいことは、ほとんど知らなかったのので、原爆先生のおかげで、新しく良い知糸織が増えたので、うれしいです。

原爆先生ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

6/16

原爆前の戦争中の話しは、聞いたり読んだりした事がありました。しかし、原爆当時の様子や直後の状況はあまり見たり聞いたりしたことがなかったのですごく勉強になりました。話し方も迫力がありました。原爆が投下される場所はすごくリアルで、聞いていても鳥はた"か"たて、びっくりしました。状況だけでなく、実体験をふまえて、くわしい話も聞けて勉強になりました。広島にある原爆資料館はすごく悲さんで見られないようなものがたくさんあり、こんなひどい"か"たんだ"と"思っていました。しかし、現実には原爆資料館よりひどいのだ"と"考えると言葉に言い表せないのは確かだな"と"思いました。今回、話をしていた"か"いて学んだ"貴重な事を伝えてい"たり、忘れられる事のないようにしたいな"と"改めて思いました。貴重で大事なお話本当にありがとうございました。




名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

6 / 16

原爆先生今回私たちのために原爆のお話をしてくださってどうもありがとう
 ございました。今回改めて原爆のおそろしさや^{真実}、私の知らない事も知り、
^昔授業で少し原爆のことを知っていたながらも、本当のことを知り体が今も少し
 ふるえています。原爆先生の被爆者^{の話}を聞けば「きくほど」、私が「知っている
 と思っていたのは外側だけなんだ」という自分の心のおろかさや被爆
 者への悲しみで「心に針がささったような47りとした気持ちになりました。
 池田義三さんが被爆所へ向かう時、横をひなんしていく人た
 ちが少しずつ人間ではなくなっているように、大げくと「さあ、体が
 が真赤になって、へい隊さん助けて。」と言いつつトラックに乗ろうと
 して来た。と言っていて、池田さん^{は他の軍隊の人}は最初は助けようとしま
 した。私はそんな話を聞いてすごいなと思いました。さくなくなりました。被
 爆者を背負って集積場まで運んだりなど、私ではできないと思いはし
 た。原爆先生今回は私たちのために原爆についてお話してもら
 えてどうもありがとうございました。原爆先生のおかげで私たちの
 まだまだ知らない原爆のストーリーや知識、さまざまなる事を知る
 ことができました。この事を機にもう1度自分の中で原爆先生のお
 話をふり返りもうこのようなことが二度とおきないために今の自分にな
 りか出来るのか考えてみようと思いました。このお話は一生忘れませ
 ん。原爆先生今回は本当に本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日のスピーチを通して、自分がこの世にいる幸福、今こゝ東京
もしくは日本が平和であること、にとても感謝しました。
また、今まで簡単に“原子爆弾”と考えていましたがよく考え
るだけで“原子爆弾”がおちるといのは、太陽が落ちると
同じくらい恐ろしいこと、とても印象に残っています。
また、“原子爆弾”でこのような被害がでてしまったのは、アメリ
カ人はもちろんですが、私たち日本人にも責任はあると
思います。私がとても強く思うのは、被爆者や死者を、
“単に数字で表す”ことは、一番してはならないと思います。
なぜなら、“24万人”や“14万人”というのは、“数”では
なく、“それぞれの物語”です。“原爆”のせいで自分が
主役である物語や背景が断ち切られた悔
みの数だと改められました。また、慰霊碑などを見る
ともうそこにはいない方でも、もうこのようないやうお願いという言
葉をうたえている方がいるとも思いました。原爆の24万人の方たち
が“死”があっても私たちに戦争の恐ろしさを伝えてくれたこと、のあ
りがたみささちりと受けとることができます。そしてその知識を生かして、
今後の未来生かすとか今の私たちに求められることです。

2021.6/17 00:09



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆の事は知っていたが被爆率70%という事や死
亡率が40%という事は知らなかったため新しい事実を
知れて良かった。又気温が15°の日時は音速は340
m/sで衝撃波の速さが440m/sで音速より
衝撃波の方が速いという事にもおどろいた。
さらに原爆ドームは、もとは、広島県産業奨励
館である事もまったく知らなかったためおどろいた。
又原子爆撃写真投下都市の条件が直径5kmを
超える、平野である事空襲がそれまでなかった
などという事をアメリカ軍が考えていたという事
も知らなかった。僕も原爆がパラシュートで落と
されたという事は聞いたことがなかったそれが
ラジオヤンキーという機械であったという事や、
高度9632mもの高さから落したという事、原爆
は、中心は、100万°にまで温度が上がり、表面
温度でさえ17000°でありそれが太陽の表
面温度より高いという事が一番おど
ろいた。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いて、原爆や戦争のおそろしさを体感できました。今戦争75年後で戦争を経験した人たちは少ないので、とても貴重な授業でした。先生のお話で原爆のまわりが7000℃で太陽のまわりは、6000℃だと分かり、おどろきました。原爆は、太陽よりも暑かったです。落ちた場所の5km以上まで爆発が広がり、40% (5人に2人)も死亡者がいたことを始めて知りました。それに、原子爆弾投下都市の条件で①直径5kmを超え、②平理であり、③空襲がない都市を選んで6つの内、広島と長崎になたとは全く知りませんでした。京都は、アメリカ軍が一番適切な原爆投下都市と言われていたけれど選はれず、広島と長崎になり、1945年8月6日、午前8時15分に広島に投下され、1945年8月9日午前11時02分に長崎県に投下されました。先生の語る時の声爆発した時ビクときました。私達かもう、その場にいるかのように思ってしまうほどおそろしさや、恐怖を感じられました。とても貴重な三時間でした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕はこの授業を通して、たった一発で何万人もの命を奪う原子爆弾は絶対にあってはならないものだとして改めて実感しました。自分の中では戦争や原爆の恐ろしさを理解しているつもりでしたが、全然、想像も絶していません。原爆の恐ろしさ、生々しさが現実味を帯びて、僕の心に重くつきさりました。

戦争を実際に経験されている方々がどんどん少なくなっている今、このように、少しでも戦争の恐ろしさを知ること、二度と同じような事が起らないようにする事はとてもとても大切な事とおもいました。

僕は今、とても平和な世界に生きています。その事に感謝し、僕が大人になっても二度とこの悲劇がおこらないようにしていきたいです。

それが平和な世界に生きている僕たちの役割であるとおもいました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今回原爆先生の話を聞いて、大変ショックを受けました。今でも先生が再現した、原爆が爆発した時の音が頭から離れられません。

先生のお話をうかがいながら私は原爆の被害にあった人達は、苦しくてつらかったんだろうなと思いました。以前マンガで皮ふがたたれて苦しむ人達のことを読んだことがあります。先生の話も同じでした。

また、その人達を助けたくても助けられなかった先生のお父さんも本当に苦しかったんだろうなと思いました。その時の記憶はすらすらと消えなかったのだと思います。

先生のお父さんは生き残ることができましたが、苦しさは続いたのだと感じました。

今、日本は戦争がなく、戦争の悲惨さを感じることはなかなかありませんが、私は原爆先生のお話を忘れずに、戦争はしてはいけないことである事を、胸に刻みたいと思います。先生、大切に貴重なお時間を、どうもありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆はとてもいいものであり、戦争はいいものではないものがあることだと思つた。戦争のことについてふざけて遊んではいけなかつた。こんな大変だとは思つていなかった。そして、死亡率が40%であるということもおそろしいと思つた。このようなことが二度と起きないことだと思つた。この授業は良い経験になり、戦争を経験していいこそバカにしてはいけなかつた。そして、手が焼けたり、全身をやけどしている人は見たことなく、そんな人がいたんだと思つた。恐怖になつた。とても良い経験をしたと思つた。